

# 「憲法9条にノーベル平和賞を」

## 実行委員会ニュース NO.6

2014-8-19 発行

憲法九条の素晴らしさを共有し、守り、活かし、世界に向けて広めていく取組の一つとして、思想・政党・宗教などのあらゆる違いを超えて、「憲法9条にノーベル平和賞を」の一点で一致し、協力して活動しています。

発行責任者：石垣義昭 090-9159-5363

ネット署名：<http://chn.ge/1bNX7Hb>

ブログ：<http://nobel-peace-prize-for-article-9.blogspot.jp/>

F B：<https://www.facebook.com/nobelpeace9jou>

メール：[c.npp4a9@gmail.com](mailto:c.npp4a9@gmail.com)

**推薦人（公表可）：20 個人 1 グループ（合計 96 名）** 8/13 現在

**署名：合計 247,517 筆（紙面署名 183,962 + ネット署名合計 63,555）**

新しい推薦人の先生が立ってくださいました！ 50 音順

- 個人
  - ・伊藤武彦氏（和光大学 現代人間学部心理教育学科教授）
  - ・中川明氏（弁護士、元北海道大学法学研究科教授）

●グループ 憲法9条をノーベル平和賞に推す神戸の会 2014年2月1日以降 新・賛同推薦人 48名 順不同

大野秀敏氏（東京大学教授）	浅川達人氏（明治学院大学社会学部教授）
丸井 浩氏（東京大学教授 インド哲学 日本学術会議第22期会員）	岡田真美子氏（兵庫県立大学環境人間学部教授 環境宗教学）
下田正弘氏（東京大学教授 仏教学）	庄司洋子氏（立教大学名誉教授）
Albert Charles Muller 氏（東京大学教授）	鎌田哲宏氏（旭川大学保健福祉学部教授・ 静岡大学名誉教授）
吉田善章氏（東京大学教授）	鎌田とし子氏（旭川大学保健福祉学部教授・ 東京女子大学名誉教授）
松永澄夫氏（立正大学教授・ 東京大学名誉教授 哲学）	宮崎正美氏（仙台白百合女子大学教授）
田村 毅氏（獨協大学特任教授 東京大学名誉教授）	山本俊正氏（関西学院大学教授）
神田 順氏（東京大学名誉教授）	川上直哉氏（牧師）
岸田省吾氏（東京大学名誉教授）	袴田康裕氏（神戸改革派神学校教授）
上野千鶴子氏（東京大学名誉教授 立命館大学特別招聘教授）	上脇博之氏（神戸学院大学大学院教授）
似田貝香門氏（東京大学名誉教授）	内田樹氏（神戸女学院大学名誉教授）
鱒坂 学氏（同志社大学社会学部教授）	ロニー・アレキサンダー氏（神戸大学教授）
安立清史氏（九州大学・大学院人間環境学研究院・ 教授 共生社会学）	稲垣久和氏（東京基督教大学大学院教授）
藤井和佐氏（岡山大学文学部教授）	森田美芽氏（大阪キリスト教短期大学学長）
森反章夫氏（東京経済大学現代法学部教授）	吉田 隆氏（神戸改革派神学校校長）
成 元哲(Sung Woncheol) 氏 (中京大学現代社会学部教授)	森川 甫氏（関西学院大学名誉教授）
関 礼子氏（立教大学社会学部教授）	金子 昭氏（天理大学教授）
岩崎信彦氏（神戸大学名誉教授）	師岡康子氏（大阪経済法科大学客員研究員）
犬塚 先氏（千葉大学名誉教授）	森田六朗氏（对外経済貿易大学教師）
矢澤澄子氏（元東京女子大学教授）	俵 義文氏（大正大学非常勤講師）
横山和子氏（東洋学園大学教授 元国連職員）	高田 清氏（安田女子大学教授）
井桁 碧氏（筑波学院大学経営情報学部教授）	津村春英氏（大阪キリスト教短期大学教授）
古城利明氏（中央大学名誉教授）	小森陽一氏（東京大学教授）
	浜野研三氏（関西学院大学教授）
	カイ・リット・フウア氏（モナシユ大学准教授）

2014年8月13日現在 総勢 78名

**紙面署名の集約は【8月末】（今年度最終集約）を予定しております。**

**ネット署名は、10月9日に最終送付を予定しております。（ノーベル平和賞授与されるまで継続します。）**

**\* 御署名ご送付の際は、必ず「受取担当者名」をご記入の上、「郵便」でお願いします。**

「国、敗れて山河あり」(杜甫の律詩)と敗戦後すぐに、不戦の誓いをしました。約4000年の人類の歴史の中で、戦い、紛争がなかったのはわずか147年です。つまり、人間の歴史は戦争に明け暮れてきたのです。

古今東西、だれかを支配するために平気で人を殺してきたエートスがあります。相手を尊重したり、へりくだっているならば開戦したりしません。武器を製造する貪欲な商人、民の上に君臨したい独裁者、「殺してはならない」の戒律を忘れた群衆がそそのかしてきました。

いつの時代も軍事的衝突によって、泣くのは弱い立場の者です。お年寄り、女性、子どもです。戦前のファシズムのような全体主義は絶対的な権力を持ちます。人のいのち、人権、安寧を顧みませんでした。ですから憲法によって国の最高権力者を縛る安全弁がどうしても必要になります。法律は民の権利や紛争に規制力を持ちます。一方、憲法は権力をもつ君主、体制に対して拘束力を持ちます。「朕は絶対で、お前たちがまちがっている」と君主が言うならば、だれも逆らうことはできません。人間が自分自身を絶対視し、神になるなら倒錯行為でしょう。暗黒時代、闇、死に突入です。神を絶対にする宗教性をないがしろにし、人間を絶対にするなら抑圧、暴力、いさかいが生じてきました。

日本のマスコミは、兵役拒否の国連の論議に無関心なのはどうしてでしょうか。社会の人権意識が希薄なことや、安倍晋三政権による憲法9条を殺す勢いに消されています。

「良心者」(良心的兵役拒否者 Conscientious Objector)としては、憲法9条を護るより「活かす」平和な国であってほしいと願います。

日本人が憲法9条のノーベル平和賞を受賞し、人類が願ってきた戦争に終止符を打つうねりを世界の憲法に着火しましょう。

## 「戦争のできる国へ」閣議決定した安倍内閣

石垣義昭(共同代表)

7月1日(火)安倍内閣は集団的自衛権の行使を容認する決定を行いました。戦争のできる国づくりに大きな一歩を踏み出したこととなります。多くの国民が憂慮していたことであり、なんとしても思いとどまって欲しいと願っていたことでした。新聞の声欄にもそう言う声が多く寄せられるようになっていました。国会前の集会やデモでもそれぞれの思いをプラカードに書き、声を出して訴えていました。そのような声は全国各地に広がり、様々な講演会や学習会が持たれ、戦争の悲惨さが学ばれ、戦争が人々の暮らしを押しつぶし、街を破壊し、人生をいかに狂わせるかが語られて来ました。

しかし、安倍首相はまったく聞く耳を持ちませんでした。国会で十分な審議を行わなかったばかりでなく、野党の質問に対する首相の答弁はごまかしといわれ二枚舌と言われました。いったん戦争に巻き込まれればそこには相手を殺すか、相手に殺されるかしかない現実があります。しかし、安倍首相は戦争のできる国を目指しながら「国民が死ぬことはありません」とまったく矛盾することを言っています。

### 国民的作詞家、なかにし礼さんの詩

今回、安倍内閣が閣議決定をしたことの重大性を詩で訴えた人に作詞家のなかにし礼<sup>(\*)</sup>さんがいます。「若者よ戦場へ行くな」と題するこの詩は、今回の閣議決定が日本国民が選ぶべき選択肢ではないこと示し「愛する平和の申し子たちよ、泣きながら抵抗しよう」と訴えています。今この詩

がネット上でも評判となり「国民主権・基本的人権の尊重・平和主義」の精神に基づく「日本国憲法」が改めて国民に見つめられはじめています。

詩はこのように始まります。

「2014年7月1日火曜日／集団的自衛権が閣議決定された／この日 日本の誇るべき／たった一つの宝物／平和憲法は粉碎された／つまり君たち若者もまた／圧殺されたのである／こんな憲法違反にたいして／最高裁はなんの文句も言わない／かくして君たちの日本は／その長い歴史の中の／どんな時代よりも禍々しい／暗黒時代へともどって行く／そしてまたあの／醜悪と愚劣 残酷と恐怖の／戦争が始まるだろう（以下省略）」

ここでは全文を紹介しませんが是非全文を読まれて下さい。国民の多くがこの詩を共有するところから抵抗の一步は始まると思うからです。ただこの詩の中で「平和憲法は粉碎された」とあるのは詩的表現のレトリックであって、実際には日本国憲法は粉碎されていません。むしろ健在です。最高法規である憲法の改憲の手続きを経ていないからです。だから、憲法学者からも今回の内閣のやり方は「裏口入学」とも「ハイジャック」とも言われるわけです。つまり犯罪行為でさえあるのです。

憲法をなし崩しにする閣議決定を重ねるなか、引き続き多くの方からこの運動への期待の声が寄せられています。毎号の実行委員会ニュースにも紹介していますが、日々届けられる署名に添えられた手紙から最近のものを紹介します。

●私たちの支えだった憲法九条が安倍政権の手で壊されてゆく不条理に、気落ちしている時。まだやれることがあったのかと、一条の光を見る思いでした。そして聖書のみ言葉「あなたがたのうちに働きかけて、その願いを起させたのは神である」を思い起こしていました。

私は今、難病のため外に出られません。訪ねてくださる友人、知人にこれだけの署名をいただきました。これからも、と思いますが、とりあえずお送りします。鷹巣さんや皆様のことを思い祈っております。

●「日本国民」の国民に引かかるものがあります。在日外国人を排除した言葉だからです。ただ、9条が危機にある現在、片目をつぶって賛成です。友人も似た考えの人が多いため、署名は1対1でよく話し合った上でいただきますので、数多く集めることはできないかもしれません。

●千葉県松戸市に住む者（75才）です。私の身のまわりで声をかけられるところに来る限り声をかけて集めています。今日現在205筆の署名が集まりましたので第一次分としてお送りいたします。かつての職場の「退職者会」の仲間たちをはじめとする友人、知人たち、私が住んでいる地域の共産党後援会の仲間たちなど快く署名に応じてくれました。引き続き集めてくれている仲間がおりますので、集約次第お送りいたします。

「実行委員会」に結集され、崇高な活動をされていらっしゃる皆様に心からの敬意を表します。

### この運動に関わって、今改めて思うこと

皆さんから寄せられる手紙を読みながら、「憲法9条にノーベル平和賞を」というこの運動の意義の深さを改めて実感しています。日本国憲法の前文と、とりわけ「不戦の誓い」を明確にした9条を読み直す時、この理念は日本国民はもとより、紛争とそれに伴う悲劇が絶えない現代社会において、世界がその実現を目指す普遍の原理であることに改めて気づかされるのです。

昨日も今日も紛争の地から多くの人の死傷者の姿、負傷した子どもたちの姿が伝えられてきます。そうしたニュースを見るにつけ、この運動が二児の母であるひとりの主婦の思いから始まった意義深さを改めて考えます。（\*1）毎日新聞 2014-07-30 <http://mainichi.jp/shimen/news/20140730dde012010003000c.html>



## 「もらいませノーベル平和賞 8.15 集会」に参加して

8/15 神戸バイブルハウスに於いて、主催：「もらいませノーベル平和賞」8.15 実行委員会、後援：憲法 9 条をノーベル平和賞に推す神戸の会 によってシンポジウムが開かれました。瀬口昌久氏、浜野研三氏、ビスカルド篤子氏がご講演下さり、それぞれの先生の専門分野から、憲法 9 条の世界的意義をお話してくださいました。講師の先生方の世界の平和を願う温かいお人柄とご講演を通して憲法 9 条の素晴らしさを確認し合い、活発な意見交換が行われ、9 条と世界平和への熱い思いが伝わった素晴らしいシンポジウムでした。それぞれできるところからさらに憲法 9 条を世界に広めていこうと強く励まされました。(鷹巣直美)

## 「子どもの未来を考える のぞみ natural カフェ」

7 月 16 日、相模原ののぞみ助産院の待合室をお借りして、軽食付きのささやかな集いを開催しました。

待合室いっぱいの参加者の前で、私たちの活動の報告 (アピール) とここに参加する実行委員の思いをお伝えさせていただきました。また、日本国憲法前文と第 9 条を唱和しあらためて素晴らしさを確認、そして、のぞみ助産院の先生の心強いお言葉と参加された皆さまからの一言にたいへん励まされ心あたたまる集いになりました。

(大田きよみ)



## 「生きづらい社会」を考えるつどいに 800 名集う

台風接近が伝えられ、つどいへの影響が避けられないと危惧される中、7 月 9 日、6 時半開演で相模女子大学グリーンホール大ホールでさがみはら九条の会主催、相模原市九条の会連絡会共賛、「生きづらい社会」を考えるつどい—憲法に聞いてみよう、が開催されました。安倍内閣が集団的自衛権行使容認の解釈改憲を閣議で強行決定したことに対し、人々の怒りが行動に現れたのでしょうか、当日券参加者が 200 名を越えました。オープニングは憲法を歌う、きたがわてつさんのコンサート。続いて「憲法 9 条にノーベル平和賞を」実行委員会の鷹巣直美さんが特別報告。憲法 9 条を守り、生かそうという新たな運動の広がり参加者の注目が集まりました。小森陽一さんは解釈改憲で「戦争する国」へ、安倍首相の暴走を止める、今こそ「九条の会」の出番を報告。小森さんと雨宮さんの対談では、これから人間らしく生き、暮らし、働いていくために憲法を守り、生かすことが大切。草の根運動をどう広げるか、など示唆に富んだ取り組みが語られました。最後に、事務局を代表して、弁護士の中野直樹さんから閉会挨拶が行われ、カンパや賛同者になっていただきたい、という訴えが行われました。

(さがみはら九条の会事務局、相模原市九条の会  
連絡会窓口 鈴木忠夫)

## 母親大会に参加して

今年第 60 回日本母親大会は神奈川県で開かれ、初日の 8 月 2 日、パシフィコ横浜での開会集會に「憲法 9 条にノーベル平和賞を」の幟旗を持って参加しました。

九条の会事務局長の小森陽一さんの記念講演「子どもたちに憲法が輝く明日を」に魅せられた直後、舞台裏に集められて登壇までの間がリハーサル。「神奈川のたたかい」構成舞台「厚木第 4 次爆音訴訟」「米軍機墜落事故」「知らない!原子力空母」等 13 チームのシンガリが私たちの出番でした。

舞台から見る会場いっぱい 7000 余の参加者は圧巻でした。共同代表の竹内康代さんの声が会場に響き渡ります。「私たちは 9 条を保持し続けている日本国民にノーベル平和賞を授与してくださいと提案しました」台本の一行目を読み終わると地底から起こる拍手のもの凄い響き、40 秒の発言に拍手の大浪が三回も押し寄せ「戦争は嫌だと世界の常識にしましょう。みなさん、ご一緒に実現しましょう!」鳴り止まぬ拍手を後に、降壇したのでした。「生命を生み出す母親は、生命を育て、生命を守ることをのぞみます」日本母親大会の 60 年の歴史に提唱者鷹巣直美さんの願い r f x q 4 s s x を重ねようと参加前の実行委員会の討論は立派に生まれました。(落合正行)

◆◆ 推薦人の先生方の「憲法 9 条にノーベル平和賞を」関連の講演会情報 ◆◆  
**なぜ「憲法 9 条にノーベル平和賞」なのか ～キリスト教の立場から～**

講演： 光延一郎氏（上智大学教授・神学部長）

日時： 2014 年 9 月 6 日（土曜）午後 1 時 30 分開会（午後一時開場）

場所： 習志野市民会館ホール

主催： まもろう平和！習志野市民のつどい実行委員会

連絡先： y-tsune@pj9.so-net.ne.jp 小嶋 047-474-2067、鈴木 047-479-3553

**多くのメディアにより紹介されました**

(5月～7月)

2014/5/1	朝日小学生新聞	5/9・16	フライデー
2014/5/1	日本青年団新聞	2014/5/14	社会新聞
2014/5/3 放送	NHK	2014/5/22	The Japan Times
2014/5/3	神奈川新聞 23 面	2014/5/23	東京新聞
2014/5/3	神奈川新聞	2014/5/24	キリスト新聞
2014/5/3	北海道新聞	2014/5/25	中国新聞
2014/5/3	岩手日報	2014/5/25	カトリック新聞
2014/5/3	京都新聞	6 月号	同朋新聞
2014/5/3	日本海新聞	6 月号	百万人の福音
2014/5/3	信濃毎日	6 月号	YWCA
2014/5/3	信濃毎日	2014/6/5 号	タウンニュース 相模原南区版
2014/5/3	毎日新聞	2014/6/15	北央医療
2014/5/3	毎日新聞	2014/06/15	時事通信
2014/5/3	毎日新聞	2014/6/30	韓国日報
2014/5/3	岐阜新聞	2014/6/30	東林 9 条の会
2014/5/3	高知新聞	7 月号	ビジネス情報誌「エルネオス」
2014/5/3	愛媛新聞	7 月号	民医連月刊誌
2014/5/3	琉球新報	7 月号	同朋新聞
2014/5/4	東京新聞	2014/7/2	朝日新聞
2014/5/4	朝日新聞 奈良版	2014/7/5	神奈川新聞
2014/5/4	クリスチャン新聞	2014/7/8 放送	中国中央テレビ
2014/5/9	Global Times 5/9	2014/7/13	AFP 通信
2014/5/11	新聞赤旗	2014/7/13	The Times of India
5 月号	月刊「生活と健康」	2014/7/14	週間朝鮮
5 月号	平和を実現するキリスト者ネット	2014/7/20	クリスチャン新聞
5 月号	カトリック大阪大司教区 社会活動センター シナピス	2014/7/23	新聞赤旗
		2014/7/24 号	週刊文春

◆ 賛同人 都道府県・郵便番号帳順、50 音

<群馬県> 小野文瑠（お題目九条の会）<埼玉県> 清水寛（埼玉大学名誉教授）<東京都>  
 アーサー・ビナード（詩人・エッセイスト・絵本作家・翻訳家）／雨宮処凛（作家）／きたがわ てつ  
 （シンガー・ソングライター）／中込由美（八王子市高尾憲法 9 条を守る会）<神奈川県> 井上宏子（建設  
 設計・税務会計 井上事務所）／山岸 靖子 <静岡県> 米山 きん <京都府> 原田博充（京都みぎわ  
 教会前牧師）<福岡県> 藤原紀代子（主婦）<大分県> 宮崎優子（赤とんぼの会）／ 日高礼子（赤とん  
 ぼの会）

<賛同団体(署名取扱い団体)> NPO 法人「T・M 良薬センター」／日本キリスト教婦人矯風会・福岡／  
 ピース大宮（長崎県）／六本松 9 条の会 （2014 年 7 月 1 日以降 8 月 1 日現在）

この取り組みは、「憲法九条にノーベル平和賞を」という願いもアイデアも皆様のものとして、主旨に賛同し  
 てくださるお一人一人や団体が、主体的に、自主的に、責任をもって出来る範囲で、思いつく様々な方法に  
 よって、憲法九条の素晴らしさと推薦・賛同の輪を世界に広めていただきたいと願っています。

# 各地の取り組みの紹介



素晴らしいアイデアで平和憲法 9 条を広げてくださっています

## “憲法9条にノーベル平和賞を”

in 笠間キックオフ!!

8月2日(土)、お稲荷さんと陶芸の街で知られる笠間市において、九条の会・かさまの呼びかけで72名の参加で開催されました。実行委員会の岡田さんから、この運動がどのようにして生まれ、今どこまで来ているか。星野共同代表からは「憲法9条を世界の常識にする」という壮大な理想を語って頂きました。集会準備の中で生まれた女性中心のお茶会から「花子とアン」のように想像力の翼を広げて、またオシャベリの会を開きたいと呼びかけがありました。

近日中に工芸の丘に設置される、ふやふやさんのデザインを取り入れた畳一畳の看板も初披露されました。

九条の会・かさま



## 『mixi』のコミュを作りました。

『憲法9条にノーベル平和賞を』という実行委員会があると知った時、とても感動しました。

なぜなら、もっと世界に広め知ってもらわなければならない憲法だからです。平和を願う人はたくさんいますが、平和を武力を以て得ようと考えている国があるとしたら、それは違うんだと、見本になるような国でありたい、そんな国民でありたい。なので、ノーベル平和賞が日本人に授与されるようお願い、『憲法9条にノーベル平和賞を』という『mixi』のコミュを作りました。一人一人の力は小さくても、みんなの力を合わせればとてつもなく大きなものになる。だから、署名もどんどん集まり、ノミネートされるまでになったんじゃないでしょうか。そして、励まされ勇気もらい、またそれが力になるんです。ぜひ、『mixi』をしてくれる方はコミュにご参加下さい。この実行委員会の存在を、もっともっと広めましょう! 下村 未来

## 成城・祖師谷九条の会

成城学園前や祖師谷大蔵の駅前で、「憲法9条にノーベル平和賞を」ののぼり旗を立て、9条の会で作成したチラシを配りながら、署名活動をしました。

長野や山梨、どんな集会へも、どこへでも必ず署名用紙とのぼり旗を持参し、機会あるごとに訴え、配っています。賛成も反対もあるけれど、一人でも多くの方に紹介したいと思います。知人から知人、またその知人へと、署名はどんどん広がり、集っています。先日も早朝から出かけ、75筆の署名を持ち帰りましたら、ポストには135筆の署名が届いており、「思ったよりたくさん署名をいただき、平和への願いの強さを実感しました。『どう声をあげてよいか、わからなかったのですが、喜んで署名します』と言われる方もおられました」との手紙も添えられてあって、疲れが吹っ飛びました。

この運動が私たちの人生を豊かにし、世界中の人たちが平和で幸せになってほしいと願っています。

三浦富雄

## ふじさわ・九条の会

安倍首相達の思いとは対極にある鷹巣さんのやさしきにあふれたメッセージに感動し、「ふじさわ・九条の会」の全体集会に実行委員会の石垣さんに来ていただいてお話を伺いました。そこでこの運動は誰もが賛同でき、幅広い方々から協力を得られる取組みだと確信し、私たちの14年度の活動の柱にすることを決定。毎月9の日行動で署名を呼びかけたり、当会の賛同・協力者約600人に署名用紙と返信用封筒をセットして送付。また若者にも関心をもってもらいたいと藤沢市内の日本大学と慶応大学の学生さんに当会が作ったチラシで署名と返信用の封筒をくるんで200セットほど登校時に配布。当会のホームページ

(<http://hws2.spaaqs.ne.jp/fujisawa9jo/>)でもネット署名を呼びかけています。「ふじさわ・九条の会」  
島田啓子

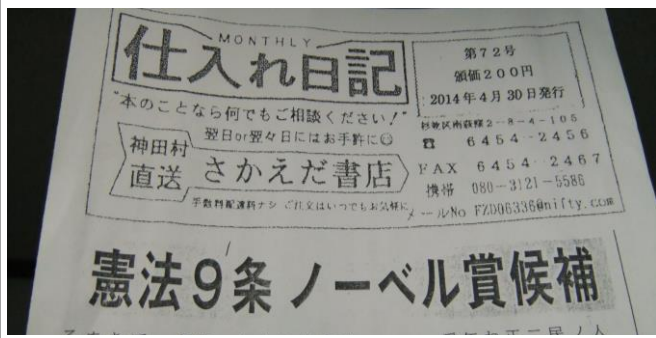


## 栄田書店

栄田浩巳

東京の荻窪にある小さな無店舗の本屋です。店を開いて30年（最初の10年は店舗あり）になります。開店以来、ミニコミ誌を発行しています。

今、安倍政権は、集団的自衛権の行使容認を閣議決定して戦争の出来る国にしようとしています。もし、集団的自衛権のもとに他国の人を一人でも殺した場合、憲法九条は有ってもなきものと同然になります。それでは六九年もの間、護ってきた日本人の努力が無くなってしまいます。憲法九十七条にあるように、この憲法は「人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果」です。一步も逆行させてはなりません。一人から一人へ、この思いを伝えるべくミニコミ誌で発信し続けたいと思っています。書店に「憲法9条に…」の署名用紙を置き、ミニコミ誌72号で、アレン・ネルソンさんの記事と共に、署名のお願いを呼びかけました。



## 赤とんぼの会

赤とんぼの会は、毎年8月15日の敗戦の日に、日本が再び戦争への道を歩まないように憲法9条を守ろうという趣旨の新聞意見広告を出しています。掲載紙は、朝日、毎日、西日本の各社大分県内版、それから地元の大分合同新聞の4紙。1ページに賛同者の名前を埋める全面広告です。1983年から毎年続けて、今年で32回目になります。すべて個人参加の個人の意思表示としての意見広告で、団体や党派、宗派を問わず、大分県内外から毎年3000人前後の方が賛同して下さっています。今年の意見広告案は、“憲法9条をノーベル平和賞に”という皆様の活動に感動し、(事前のお断わりもせずに) キャッチコピーとして使わせていただきました。あしからず、ご了承ください。

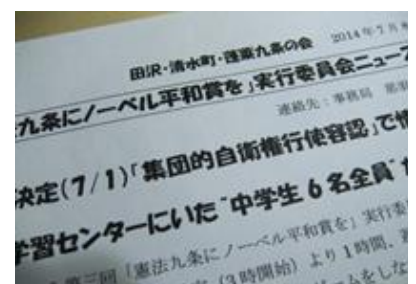
これからも、戦争によって苦しむ人がいなくなるように、世界に9条の輪が広がることを目指して、ともにがんばりましょう！ 赤とんぼの会 日高礼子



ア この  
イ デの  
の 団取  
の 体ア  
輪 様も  
を 様皆  
を 々組  
世 々み  
界 々は  
に 々  
広 々  
方 々  
め 々  
て 々  
に 々  
い 々  
た 々  
っ 々  
だ 々  
っ 々  
た 々  
だ 々  
き 々  
たい 々  
い 々  
と 々  
願 々  
っ 々  
て 々  
い 々  
ま 々  
す 々  
。

## 福島市・「田沢・清水町・蓬萊九条の会・署名実行委員会」の活動

福島市の田沢・清水町・蓬萊九条の会では、6月21日に署名実行委員会を12名のメンバーで立ち上げて、楽しく署名活動に取り組んできました。毎週土曜日に実行委員会を開催し、できるだけ多くの署名を集めるための相談をし、ニュースを発行してきました。協力を呼びかけるチラシ（表面：地域の著名人51名による呼びかけ、裏面：署名用紙）を作成し、全戸（4946戸）配布しました。署名活動の情報を広く伝えるために「憲法九条にノーベル平和賞を後押しする署名活動をしています。」というアナウンスをしながら、宣伝カーで地域を巡回しました。「平和のための戦争展」などの集会にも出かけて参加者に協力を呼び掛けています。そして、7月12日と25日に地元のスーパーの店先で、署名の統一行動を行いました。閣議決定後、署名に応じる方が格段に増えています。実行委員会では7月末までに1255筆（住民数の10%）の署名を集め、本部に届けました。（8月21日に署名の統一行動を検討中）



事務局担当  
那須稔雄

# 2014 年度の受賞を願い、署名「100 万人」を目指します!

2014 年度のノーベル平和賞受賞の後押しを願って、まだまだ推薦人と賛同署名を募っています!  
どうか身近なお知り合いから世界までご賛同の輪を広めていただければ幸いです!

- 日本語版ネット署名 ⇒ <http://chn.ge/1bNX7Hb>
- 英語版ネット署名 ⇒ <http://chn.ge/1bU0pay>
- 韓国語版ネット署名 ⇒ <http://chn.ge/SX9NHa>
- 中国語版ネット署名 ⇒ <http://chn.ge/1kRuUIJ>

世界の平和を願う 1 人ひとりの小さな声と力を合わせて 9 条を世界に広めていきましょう!

## 缶バッジを 1 個 200 円、5 セット(10 個入り)から販売できるようになりました!

この度、多くの方のご協力により、小売りすることが出来るようになりました!  
(今まで手が回らず、100 個単位の販売しか出来ず申し訳ございませんでした。)  
1 個 200 円 5 セット(10 個)から♪ この機会にご利用いただければ幸いです。  
ご希望の方は、実行委員会までお願いします。メール/TEL: 090-9159-5363



私たちの身体についている手は、誰かを傷つけたり、殺したり、殺されるためにあるのではなく、平和の働き手になるためのもの。武器を持たない空の手で、先ずは握手、あたたかい血のかよった手で、隣の国の人と握手。平和の挨拶をしよう…。空気のように、あることの大切さに気づかれなくなってしまった「憲法9条」を手放さないようにしましょう…。

そんな願いをこめて…。

Designed by Matsumoto Ruka

## 事務局からのお知らせ ～皆様へのお願い～ いつもご支援・ご協力心から感謝申し上げます。

◆今後、新聞の地方紙、あるいは地方版で、「憲法9条にノーベル平和賞」の取り組みや関連記事がありましたら、実行委員会までお知らせくださると有難いです。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

◆賛同団体(署名取扱い団体)募集中です!

◆署名用紙を送付して下さった方々にもニュースをお届けしております。  
送付不要の場合は、ご連絡ください。

◆実行委員会は皆様からのカンパによって運営されています。ご協力をお願いいたします。  
これまでに寄せられましたカンパ、切手の献品を心より感謝いたします。

郵便口座名:「憲法9条にノーベル平和賞を」実行委員会

郵便振替:記号 10230 番号 8937301

銀行からの【店名】0二八(読み ゼロニハチ)【店番】028

振り込み:【預金種目】普通預金【口座番号】0893730 (団体献金はお断りしております。)

## ◆◆ 署名ご送付時のお願いとご注意!! ◆◆

\* 御署名ご送付の際は、必ず「受取担当者名」をご記入の上、「郵便」で  
お願いします。(個人情報が記入されている署名用紙などは、メール便では取扱いされません。  
また、メール便、宅急便では郵便局で受け付けてもらえませんのでご注意ください。)

〒252-8799 神奈川県座間市相模が丘1-36-34

座間郵便局留め 担当:落合正行 宛

署名送付先 郵便番号が変更になりました。旧) 252-0001→新) 252-8799 旧〒でも受け取れます